



健康・福祉・介護のひろば

問合せ 健康福祉課 ☎66・3111 健康担当132・133 福祉担当134・135 介護保険担当124 地域包括支援センター128

特定健診・がん検診が大切なわけ

今回は、健診（検診）に関するよくある質問や疑問についてお答えしていきます。

Q：元気だから自分には必要ないかな？

A：がんをはじめ、生活習慣病の多くは初期には自覚症状がありません。血圧や血糖値などが高くても、特に痛みや異常を感じないことがほとんどです。自覚症状が現れたときには、かなり深刻な事態にまで進行しているため、健康に自信がある人でも、きちんと健診（検診）を受けることが大切です。

Q：忙しくて行く時間がとれないんだけど仕方ないよね？

A：特定健診に必要な時間は1～2時間程度で、がん検診でも、例えば、大腸がん検診であれば自分で検体を採取するだけの簡単な検査です。もし病気が進行してから発見されると、治療のために長期間仕事を休むことになったり多大な治療費が必要になったりしてしまうリスクが大きくなります。

Q：通院しているから受けなくてもいいのでは？

A：特定健診やがん検診は、通院中の人も対象になります。病院に通っているからといって、決して油断せずに、健診（検診）を受ける必要があることを覚えておきましょう。まずは通院先のお医者さんに相談をして、必要な検査は確実に受けるようにしましょう。

Q：病気が見つかったら怖いからどうしよう？

A：健診（検診）を受けて何か病気が見つかったら怖いから、との理由で受診をためらっている人がいます。しかし、生活習慣病の多くは、早期に発見できれば治癒することが十分可能です。かつては「不治の病」と考えられていたがんも、初期（ステージⅠ）に発見できれば、部位によっては、ほぼ100%の完治が望めます。

Q：具合が悪くなったら病院に行けば大丈夫でしょ？

A：「自覚症状が現れたので病院へ行ったらすでに重症化していた」というケースもけして珍しくありません。また脳卒中や心筋梗塞など、何の前触れもなく突然発症してしまうケースもあります。「具合が悪い」と感じてから治すのでは無く、定期点検を怠らないことで命と健康を守りましょう。

町でも、特定健診・後期高齢者健診が始まります。また、乳・子宮がん検診・骨密度測定、胃・大腸がん検診も予定されています。新型コロナウイルス感染症を恐れて受診を先延ばしにした結果、大きな病気の発見が遅れてしまうことのないように、毎年、健診（検診）を受けるようにしましょう。

各種健診（検診）については、下記までお問い合わせください。

問合せ 健康福祉課 健康担当 ☎66・3111 内線132、133

更生相談

身体障害者の更生援護に必要な専門的な知識・技術についての相談及び指導を実施しています。補装具の処方及び適合判定、施設入所の判定、その他医療相談を無料で受けることができます。

（手足・体の障害の相談）

・7月11日(月) 熊谷児童相談所

予約制ですので、早めに健康福祉課へご連絡ください。

問合せ 健康福祉課 福祉担当
☎66・3111
内線134

簡単な手話を覚えましょう【第28回】

「連休」の手話表現



4指を曲げ指先を向き合わせた両手を、体の方へ強く引き寄せます。



動画はこちらから

協力：ちちぶ広域聴覚障害者協会
担当：健康福祉課 ☎66・3111